

校長室だより

平成19年1月25日

第 111 号

榎並っ子

大阪市立榎並小学校長 小林恵子

卒業遠足で子どもたちのよさを実感

1月22日に、6年生が、卒業遠足で六甲山人工スキ - 場に行きました。当日は、春を思わせるような穏やかな気候であたたかく絶好のスキ - 日和でした。

現地に着くと、まず、バスの中でスキ - ができるような服装を整え、スキ - 場に向かいました。次に、子どもたちはゼッケンを付けスキ - 靴を履き、スキ - 板とストックを胸に抱えて、本日の練習場所であるゲレンデ下の場所に下りて行きました。スキ - 靴を履いているので、恐る恐る下りている子が多かったです。スキ - 教室を始めるにあたり開校式が行われ、インストラクタ - の方の自己紹介があり、続いて注意事項を述べ



られました。その後、5つの班に分かれ、インストラクタ - の方からスキ - 板の着用の仕方や滑り方などを教えていただきました。続いて、片方の足だけスキ - 板を着用して滑ったり、スキ - 板を着用して平地を歩いたりしました。最初は、スキ - 板を着用しているために思うように動けなくて四苦八苦していた子どもたちですが、1時間もすると、少し坂になった所から何とか滑ることができるようになりました。今まで、スキ - をしたことがある子どもたちは、スキ - 場の一番上からインストラクタ - の方の指導に基づき、シュブ - ルを描いていました。



2時間ほど練習した後、レストランでカレー - ライスを食べました。履き慣れないスキ - 板を着用して一生懸命練習したのでお腹が減っていたのか、子どもたちは、あっと言う間に食べ終わっていました。

食事後、もう一度ゲレンデ下の練習場所にもどり、緩い坂を使って滑り方や転び方の練習をした後、子どもたちは、いよいよリフトに乗りゲレンデの一番上に移動しました。

青いゼッケンを付けた子どもたちが、ゲレンデの上の場所に一列に並んでいるのが見えました。内心、大丈夫かなと、冷や冷やししながら子どもたちの様子を見ていたのですが、どの子どもも練習の成果を発揮し、上手に滑り下りてきました。リフトで上がり、ゲレンデの中頃の場所から滑るようになっていたのに、予定の時刻になったため滑ることが

できなかった班もありましたが、どの子どももスキ - の楽しさを味わってくれたことと思います。

最後に、簡単な閉校式が行われました。その中で、子どもたちの指導にあたってくださったインストラクタ - の方から「六甲山人工スキ - 場には、遠くから多くの学校の子子どもたちがたくさん来ますが、榎並小学校の子子どもたちは、その中でも一番行儀がよく、教えたことをしっかり聞き、一生懸命練習に取り組むことができます。」と大変ほめていただきました。改めて、最高学年として自覚をもち行動できる子どもたちのよさやすばらしさを実感しました。

午前中のあたたかさとは打って変わり、午後は寒く帰る間際には吹雪になりました。子どもたちにとっても自然の雪を見ることができ、心に残る卒業遠足になったことと思います。



ぽかぽか集会 一体も心もあたたまりました

1月18日の児童集会の時に、例年は3回に分けて行われるぽかぽか集会を今年も1時限目の時間を使って行いました。

全校の子どもたちが講堂に集まり、「これから、ぽかぽか集会を始めます。集会のめあては、『体があたたまるように仲よく集会をしよう』です。船長さんゲーム、クイズ、仲間集めゲーム、ジャンケン列車の4つのゲームをし、体も心もぽかぽかになりましょう。」というはじめのことばの後、ぽかぽか集会が始まりました。船長さんゲーム クイズ 仲間集めゲーム ジャンケン列車の順に行われました。どのゲームも進行係の子どもたちの説明をしっかりと聞き、1年生から6年生で構成されるエナミファミリー - の子どもたちが協力して、楽しむことができました。

「みなさん、ぽかぽか集会は楽しかったですか。ぼくは、いろいろなゲームができて楽しかったです。体も心もあたたかくなりました。今のエナミファミリー - で遊ぶのも後少しとなりました。これからもグル - プの人と仲よく遊びましょう。」というおわりのことばで、ぽかぽか集会は終了しました。体も心もあたたまり、異学年の子どもたちとの交流も深めることができた一時でした。

